

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成31年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者 13番 石原富子 議員

1 大山・菁莪地域活性化推進事業の今後の予定について

この事業は、白岡市第5次総合振興計画の重点プロジェクトとして進行中であるが、来年度は計画の中間点に当たる。

現在の進捗状況と、次年度以降の取組について伺う。

- (1) この事業の最終目標は何か。
- (2) 現在どこまで達成しているか。その効果は。
- (3) 来年度の事業展開の計画は。
- (4) 地域への支援策は。

2 白岡駅周辺を禁煙区域に指定してはどうか

白岡駅周辺では、朝の通勤時間帯に受動喫煙で迷惑を被っている人も多い。駅周辺の路上喫煙を禁止にしてはどうか。

- (1) 受動喫煙の害を訴える市民からの切実な声に対して、市の対応はどのようにしているか。
- (2) 白岡駅東口の喫煙場所の指定について。
- (3) 歩きたばこやポイ捨てが後を絶たない。新白岡駅・白岡駅の周辺を全面禁煙にしてはどうか。

第2通告者 14番 大倉秀夫 議員

1 庁舎西側県道への手押し信号の設置について

- (1) 前回の一般質問から2年が経過しているが、市ではどのような対応をしてきたのか。
- (2) 歩行者や自転車の安全確保のためにも、ぜひ、手押し信号の設置をお願いしたい。

2 中央公民館の管理について

中央公民館の外壁を補修、塗装、修理などできないか。

第3 通告者

8 番 遠 藤 誠 議員

1 子ども読書推進計画を作成しないか

こもれびの森と学校図書館の関係など、子どもの読書を推進するための計画を作る必要があるのではないか。

2 多面的機能支払交付金について

(1) 農家以外の参加がなくても認定されたのはいつからか。なぜなのか。

(2) 農業の役割を広く再認識する必要があるのではないか。

3 教育委員会傍聴者の増加のために

(1) 広報の成果は傍聴人の多寡で決まるのではないか。

(2) 傍聴ができることを広報すべきではないか。

4 自治と生涯学習センターの目的

(1) 一つの効果は、応募者やパブリックコメントの増加ではないのか。

(2) 自治の進捗は。

5 白岡中学校周辺の開発について

大型商業施設は、開発終了時点でも主流なのか。

第4 通告者

3 番 関 口 昌 男 議員

1 会計年度任用職員制度の導入について

(1) 国の法制化の考え方と該当者の把握について。

(2) 新しい職の整理について。

(3) 該当職員の要求について。

(4) 該当職員の意見聴取と話し合いについて。

2 国民健康保険改革について

(1) 国民健康保険の問題点について。

(2) 都道府県化の結果についての市民の受け止め方について。

(3) 日本共産党の国民健康保険制度に対する提言。

(4) 繰入金投入で保険税を引き下げることについて。

(5) 一部事業の実施内容の改善について。

第5 通告者

17番 高木 隆三 議員

1 小・中学校における給食の完食指導について

- (1) 教員による給食の完食指導がきっかけで、不登校や体調不良になったなど問題視されている。当市内における教育現場の実態と対応について伺う。
- (2) 支援団体一般社団法人「日本会食恐怖症克服支援協会」に寄せられる相談は多くある。生徒や保護者の実態調査が必要と思うが考えを伺う。

2 下水道インフラ整備（合併浄化槽）について

- (1) 公共下水道などの汚水処理人口普及率は全国平均9割を超えているが、小規模自治体の普及率は低い。当市における合併浄化槽の普及率は。また、県平均と比較してどうか。
- (2) 現在、単独浄化槽を設置している家庭もあるのか。合併浄化槽に切り替えていただく必要があると思うが、設置状況と取組について伺う。
- (3) 合併浄化槽を設置しても、維持管理業者と契約していないため、悪臭や汚物が流れ出してしまうなど、生活環境の悪化に繋がっている地域がある。当市での現状と対策について伺う。
- (4) 環境にとっても、防災上も、合併浄化槽の設置は重要であるが、普及の壁となっているのが設置費用の問題である。補助金の見直しを検討する考えはないか。

3 ふるさと納税返礼品に「みまもりサービス」を

- (1) ふるさと納税制度は、返礼品3割を超える高額返礼品が問題になっている。当市においてこの問題をどのように受け止めているか。
- (2) 高齢者によって、一人で暮らす家族安否を定期的に確認できるように、日本郵便などが商品化している「みまもりサービス」をふるさと納税の返礼品にする考えはないか。

第6 通告者

16番 菱 沼 あゆ美 議員

1 市立図書館の「誰でも読書」と活用について

- (1) 図書館は、多様な人に利用されることが課題ではないか。障がい

児・障がい者や読み書きに困難を抱える人への現在の読書支援の取組と、分かりやすい館内案内表示やユニバーサルデザインについて伺う。

- (2) 具体的な読書支援やLLブックなどの導入などについて、福祉関係者・当事者と意見交換や提案ができる仕組みが必要ではないか。
- (3) 図書館を利用しにくい方に、丁寧な案内ツアーを実施してはどうか。また、図書館利用を分かりやすくまとめたガイドを作成してはどうか。
- (4) 以前作った「雑誌スポンサー制度」が活用できていない。利用者が多くなったことも後押しにして、市内に限らず広く広告を募っていきコストの削減をすべきと考えるが、いかがか。

2 高齢者の支援について

- (1) 地域包括支援センター2か所の担当地域住民数と相談件数の数年分の推移を伺う。
- (2) 2か所の利用状況や支援活動の内容からは、サービスの偏りなどを生じることになってはいないか。また、圏域を超えた利用者への対応はどうされているか。
- (3) お元気な高齢者に向けて、更に支援をしていくことも大切である。老人福祉センターのような場所を増やすことはできないか。

3 市民に寄り添った公共施設や運動公園について

- (1) 多くの高齢者がグラウンドゴルフを楽しんでいるが、運動場まで当番制で重たい道具を運搬している。高齢化が進み、道具の運搬が困難になっている。運動公園などに置くことはできないか。
- (2) 公共施設の多くの洋式トイレは、冬場は冷たく、使いにくい。暖房便座に交換してはどうか。オストメイトに対応した前広型の製品も普及し始めた。外出支援にもなると考えるが、どうか。
- (3) 新旧の公共施設では、差があることは仕方がない。建物の長寿命化と集約の計画も重要だが、市民が使いやすいように小さなリノベーションも随時必要ではないか。また、アンケートなどを行い、使う側の声を集める取組はされているか。

第7通告者

6番 細井 公 議員

1 市内商業の今後の見通しについて

- (1) 昨年9月白岡駅西口ロータリーという超一等地に立地していた白岡特産館が閉店した。市内の商業の今後の見通しについて伺う。
- (2) 消費税増税の際、商品券等の計画が報じられているが、市内のみを対象とする別の活性化策を行うことも大事であると考えているがこれについても伺う。

2 図書館の貸出し強化と利用率について

機能を十分果たしているように思えるがどうなのか。

第8通告者

2番 渡辺 聡一郎 議員

1 市のビジネス支援について

- (1) 市が設置したチャレンジショップについて伺う。概要、目指す効果、また具体的な支援方法と支援体制は。
- (2) 駅前活性化や新たな駅前づくりに向けた取組について伺う。駅周辺店舗の実態把握をどのように行っているか。店舗・市民への市場調査を行い、ビジョンと政策の構築が必要ではないか。
- (3) 商店街の次代を担う若手の育成を具体的にどのように図るのか。

2 若い世代のまちづくりへの参画について

- (1) 市民協働に若い世代の力が必要と考える。若者のまちづくりへの参加をどのように促すか。
- (2) 主権者教育の現状と課題について伺う。また今後どのように取り組んで行くか。

第9通告者

11番 鬼久保 二郎 議員

1 白岡市総合運動公園について

- (1) 総合運動公園の利用状況について。
- (2) 公園の使用形態の変化について。
- (3) 一部リニューアルの考えは。

2 家庭ゴミ集積について

- (1) 土地開発や住宅開発に伴いゴミ集積の問題はどうか。
- (2) 既存のゴミ集積所の状況は。

3 市財政の今後について

- (1) 小・中学校のエアコン設置に伴う新たな出費や生涯学習施設の維持管理の出費はどの程度か。
- (2) 新たな増加が市の予算に対する影響は。
- (3) 都市計画税の変更の考えはないか。

第10通告者

4番 齋藤信治 議員

1 河川の環境問題

市は河川を重要な観光資源と捉えている。しかし、多量のゴミが土手や川の中に落ちている。県・観光協会・市民と協力して清掃し、観光資源としての価値を引き出すべきではないか。

- (1) 河川のゴミの状況を把握しているか。
- (2) 「川の国応援団」の拡充に観光協会と協力して支援するべきでは。
- (3) 県との連携はできているか。
- (4) 土手のゴミ拾いをゴミゼロ運動のようにできないか。
- (5) ゴミを捨てないような仕掛けや監視カメラの設置などできないか。

2 子どもの貧困対策

子どもの貧困が叫ばれて久しい。今までの対策を検証し、今後の施策に反映させていくべきではないか。

- (1) S S W（スクールソーシャルワーカー）の勤務体制について。
- (2) 子どもの貧困実態は把握できているか。対策してきた効果の検証は。
- (3) それぞれのライフステージでの担当者間での連携はできているか。
- (4) 就学支援は、必要な人が漏れることなく利用できているか。
- (5) 子どもの権利条約を批准して25年。子ども、教師、保護者への教育は進めているのか。

第11通告者

9番 黒須 大 一 郎 議員

1 水道管老朽化の対策は万全か

- (1) 耐用年数40年を超えている水道管は、何キロメートルあるのか。そして、これまでの漏水等事故状況は。(メーター上下流側での10年程の推移)

(2) 道路内老朽給水管改良（更新）促進事業計画と促進のため改良等に工事助成は。

(3) 技術の継承を図るため、水道事業の官民連携を進めるべきだが。

2 本庁舎西側の東北道アンダーパスや周辺道路を安全で便利なものに

(1) 本庁舎西側の東北道アンダーパスは、雨等で年間何回通行止めになっているか。（ここ10年ほどの発生状況）

(2) 白岡・宮代線橋脚建設による影響をどう考えているのか。

(3) アンダーパスから庁舎方面へ向かう道路の安全対策をどのように考えているのか。

(4) 庁舎に近いアンダーパスを車両のみ一方通行化し、安全性と利便性向上を図っては。

※除く自転車、歩行者

3 ふるさと納税のこれから

(1) 現在まで民間サイトにいくらの手数料を支払っているのか。

(2) 手数料の軽減化や直営などの事業運営上での工夫は。

(3) 継続的なつながりを図ることができる取組を検討していくとしたが、市独自のポイント制の導入は。

4 2023年の成人式、18歳、20歳のどちらに

18歳成人改正民法が2022年4月施行される。18歳から契約や裁判を起こせるが、飲酒喫煙公営ギャンブルは、20歳未満禁止である。

(1) これまでどおり20歳とするのか。その年は18、19、20歳とするのか。

(2) 大人の都合で決めるのか。対象となる年代との意見交換やヒアリングなどをすべきでは。

5 地域振興と白岡まつりどうなるのか。効果は

(1) 第23回白岡まつりは、知事選のため中止となった。今年は、どうなるのか。

(2) 出展者を除く運営スタッフは総勢何名で、内ボランティアの内訳は。（公募、市職員、商工会など）

- (3) 白岡まつりは、生涯学習センター（こもれびの森）を含む会場となるのか。その際、閉館してしまうのか。どうなるのか。
 - (4) 地域振興を促す商工祭りとしての効果は。
- 6 これから市の趨勢を占う白岡中学校周辺区域土地利用事業化検討パートナー候補者が決まったがどうなる
- (1) 人やモノが集まる都市機能を集約させる（ある）ことが、市が持続可能な自治体として、重要と考えているのか。
 - (2) 候補者のプランは、どのような都市機能が必要と考え、どう地域資源と融合（活用）させようとしているのか。
 - (3) 隣接する篠津北東部（計画的開発検討区域）に影響は。
 - (4) 本事業化検討区域と周辺には、中学校2つ小学校1つがある。落ち着いた学校（教育）環境に、都市機能が影響しないか。
 - (5) 現在でも渋滞している県道78号線を、開発にあたり市負担で緩和等の改良整備をするのか。